

MiTERAS

仕事可視化

エージェントインストールマニュアル

～ Windows 版 ～

 MiTERAS仕事可視化エージェント（Windows版）について、下記に本書の内容を記載します。

ページ	項目	内容
P3～P4	はじめに	エージェントの環境要件や注意事項について記載
P5～P14	インストール手順	エージェントのインストール手順について記載
P13～P19	アンインストール手順	エージェントのアンインストール手順について記載

Mi クライアント要件

- エージェントが動作するための環境要件を以下に示します。

項目	要件
OS	Windows 11
ソフトウェア	.NET Framework 4.8.1以上

M1 注意事項

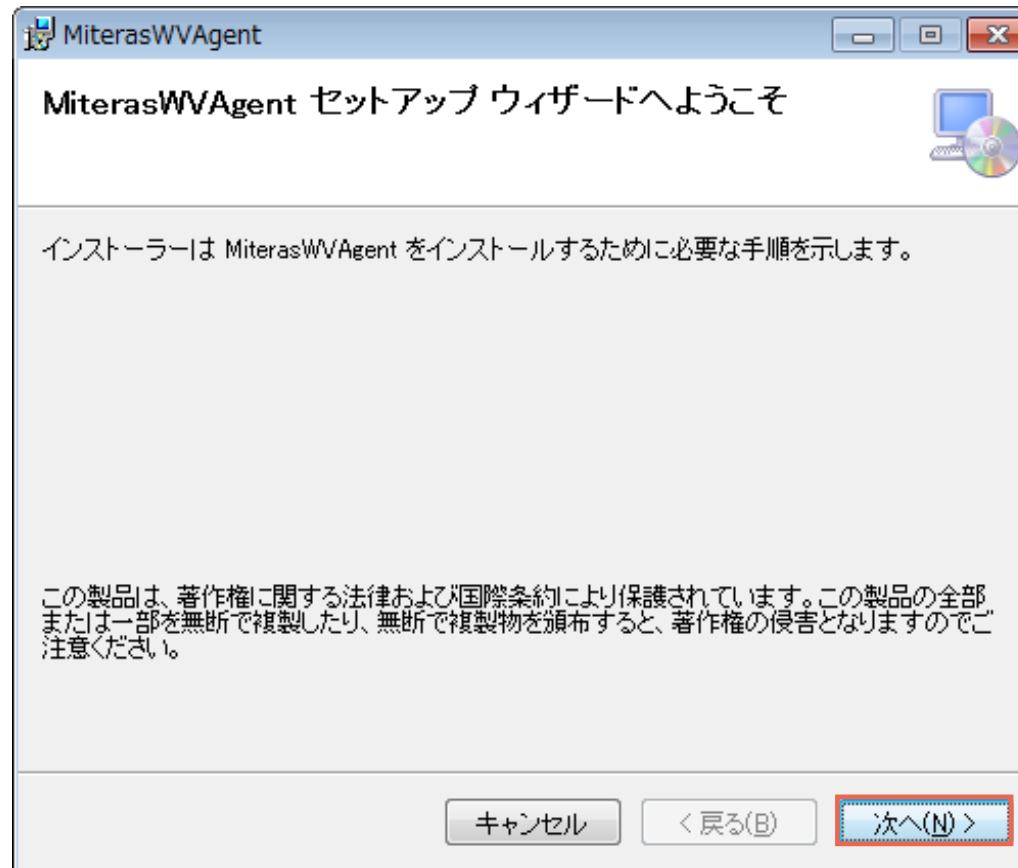
- エージェントのインストール／アンインストール時はPCの**管理者権限**が必要になります。
 - オンラインの状態にログを送付できます。オンライン利用をお願いします。
 - エージェントは日本国内利用を想定しています。タイムゾーンと時刻は正しく設定を行ってください。
 - 正しいログを取得するために、利用終了時にはPCをシャットダウンするようにしてください。
 - エージェント対応のOSおよびバージョンのPCでご利用ください。
 - コンピュータ名に含まれる小文字英数字は大文字となり送信されます。
 - ウィンドウタイトルの最大長は取得元のアプリに依存します。
 - セキュリティソフトによりAgentの通信が拒否されている場合、ログが送れなくなることがあります。
 - ユーザーのプロファイル領域がログオフ時に削除されるなどの環境の場合、Agentが動作しないことがあります。
- 【例】VDI（リンククローン）、RDS（移動プロファイル・フォルダリダイレクト）
- 利用が終了した場合、エージェントはアンインストールを行ってください。
 - URLを取得可能なブラウザはGoogle ChromeとMicrosoft Edgeのみです。
 - ブラウザが閲覧履歴の中で一番最近に閲覧されたサイトとして記録しているURLが取得されます。
 - 取得可能なURLの文字数は64文字です。（「http://」、「https://」、「file://」以降の文字から文字数をカウントします。）
 - ブラウザのデフォルトユーザで利用したURLのみ取得可能です。（Google Chrome, Microsoft Edgeにて新規追加したプロファイルを利用した場合、URLは取得されません）
 - 閲覧履歴の格納先フォルダがブラウザのデフォルト設定から変更されていた場合、URLは取得できません。また、シークレットウィンドウで閲覧したURLも取得できません。
 - エージェントの常駐化機能はタスクスケジューラが動作していることが前提です。

M1 エージェント基本機能/動作

- エージェントから取得したログ情報をMITERASシステムに定期的にアップロード
- オフライン状態の場合はログをPC内に蓄積し、オンラインになった時点でアップロードを再開
- ログオン状態、利用アプリケーションのログ取得
 - A) PCログオン状態を記録
 - B) スリープ、ロック、ログオフ、シャットダウンするとログオン状態が解除、ログ取得を停止
 - C) マウス、キーボード操作が5分以上無い場合、ログ取得を停止

インストール手順

- ①ダウンロードした「MITERASWVAgentSetup_Ver*.*.msi」ファイルをダブルクリックします。
※ダブルクリック時に警告文が表示された場合は、
【Appendix】 Microsoft Defender SmartScreenの警告が出た場合を参照下さい
- ②MitrasWVAgentセットアップウィザードが起動しますので、「次へ」を選択します。

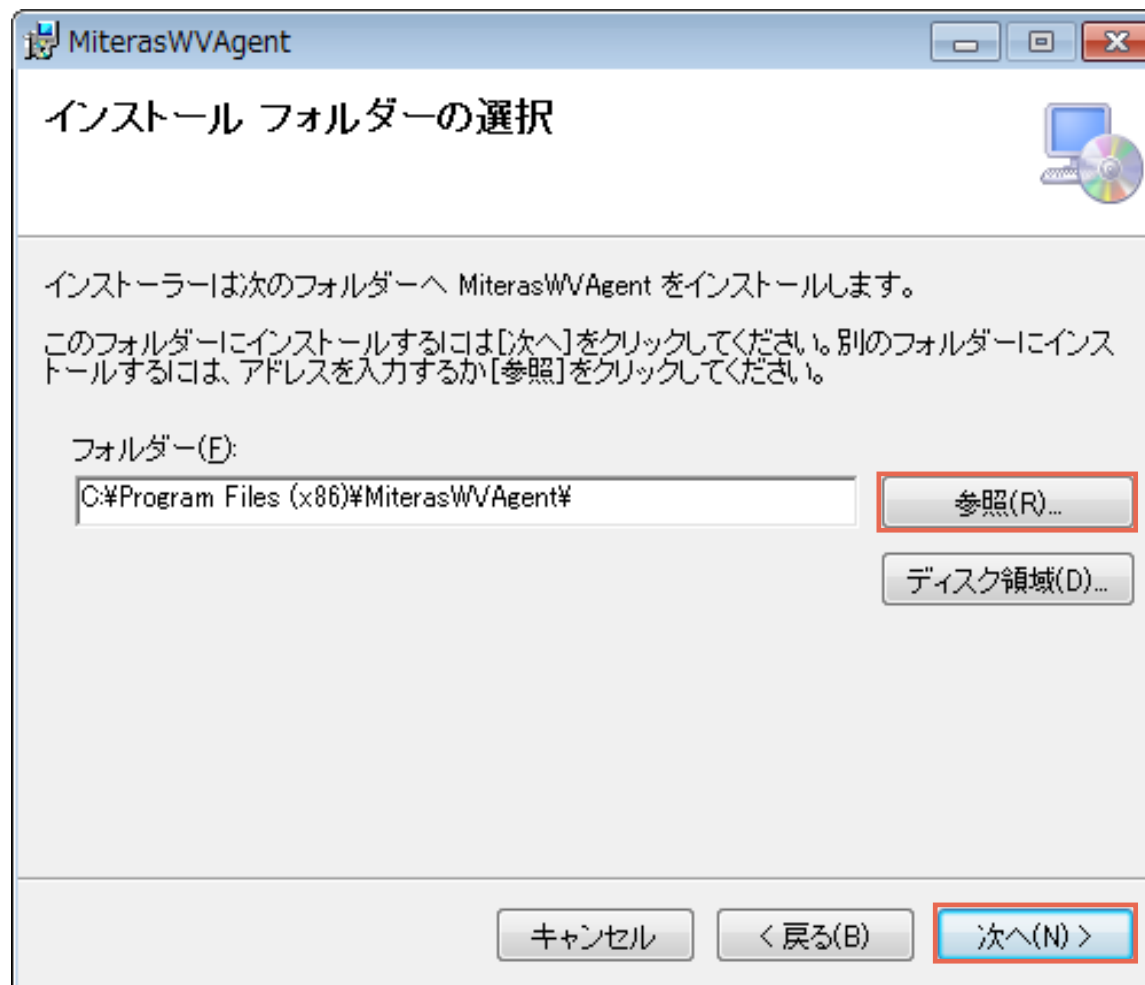


インストール手順

③「インストールフォルダーの選択」画面が表示されます。

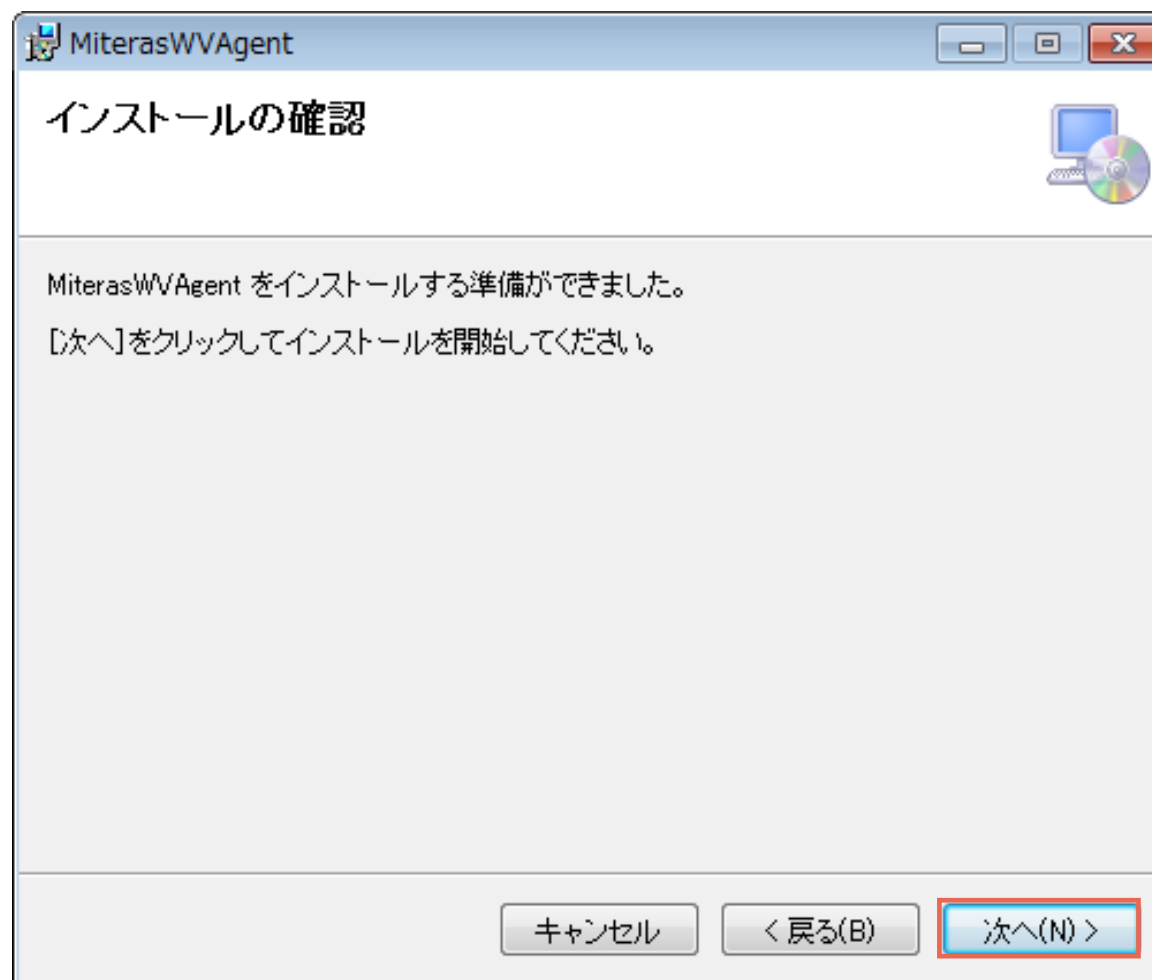
デフォルトでは[C:\Program Files (x86)\MiTERASWVAgent]フォルダーにインストールが行われます。

インストールパスを変更する場合は「参照」をクリックし、指定することが可能です。内容を確認後「次へ」を選択します。



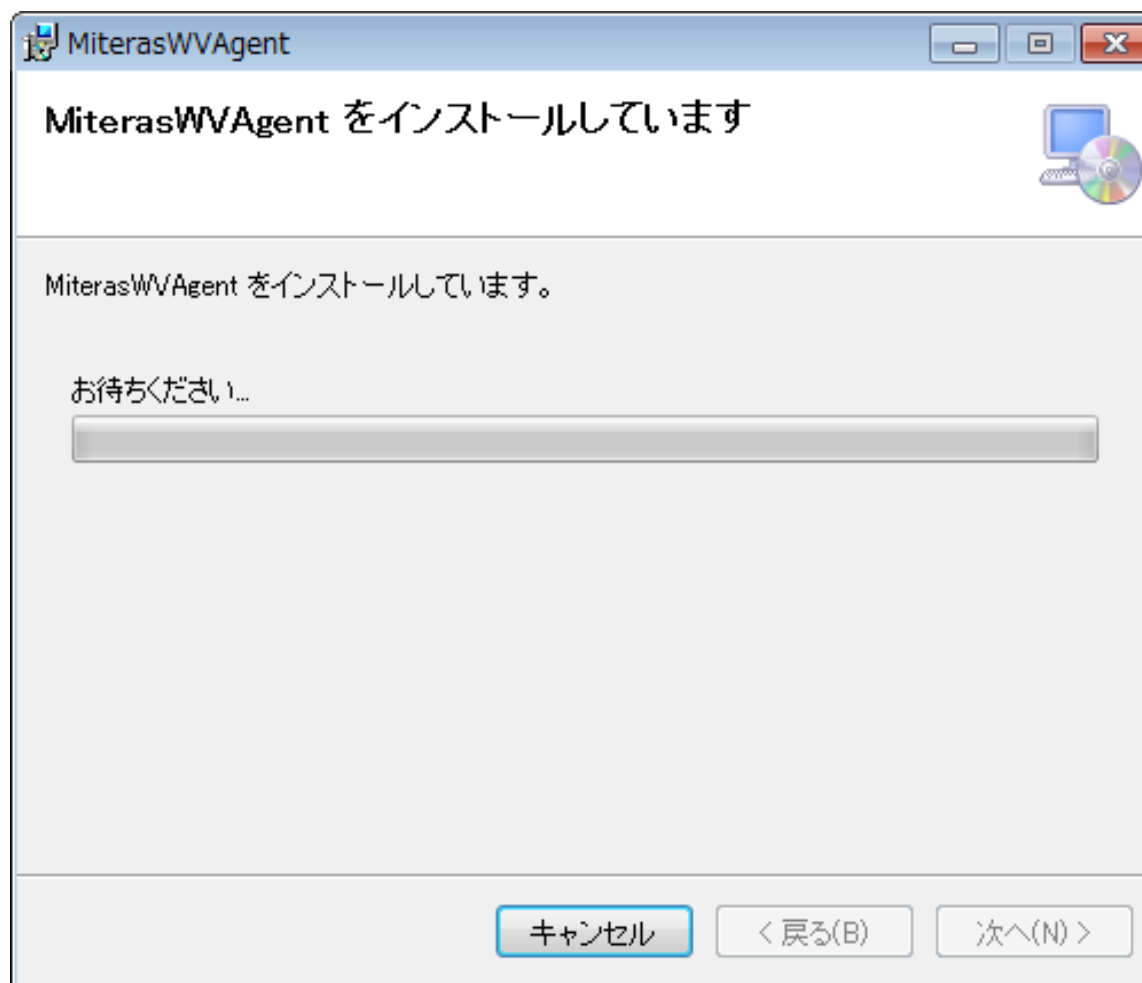
インストール手順

④「インストールの確認」画面が表示されますので「次へ」を選択します。



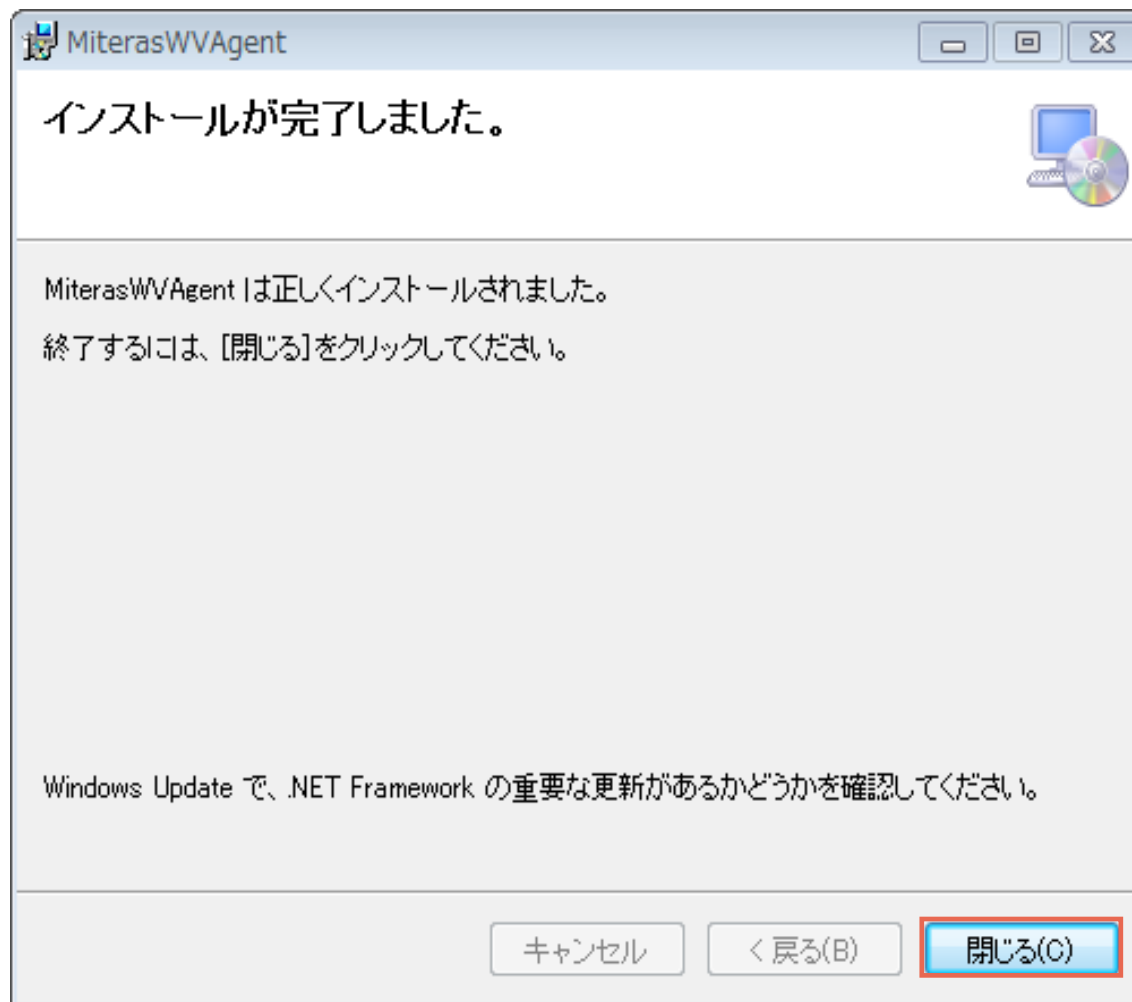
インストール手順

⑤インストールが開始されます。



インストール手順

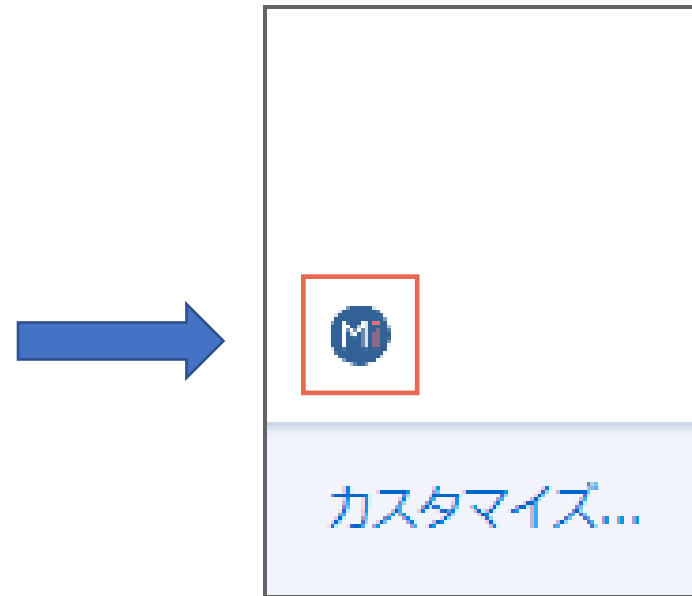
- ⑥インストールが完了した旨のメッセージが表示されますので「閉じる」を選択します。
「閉じる」選択後、**PCの再起動**をしてください。（エージェントは次回ログイン時に自動起動します）



インストール手順

⑦PCが起動したら、エージェントの起動確認を行います。

デスクトップのタスクトレイをクリックし、エージェントのアイコンが存在することを確認します。



以上でエージェントのインストールが完了です。

【Appendix】 サイレントインストール方法

- ・サイレントインストールは以下のWindows機能、「msiexec」コマンドにて行うことが可能です。
また、エージェントをバージョンアップする際も以下のコマンドから実行することが可能です。

■コマンド

```
msiexec /i "PATH¥MITERASWVAgentSetup_Ver*.*.msi" /q /norestart
```

※注意点※

- ・**管理者権限**でコマンドを実行する必要があります。
- ・インストール後は、**PCの再起動**が必要となります。

【Appendix】 エージェントバージョンアップ手順

本項では既にインストールされた古いバージョンのエージェントを新しいバージョンのエージェントに入れ替える手順を記載します。
※以下の手順を実施することで古いエージェントをアンインストールすることなく上書きインストールすることが可能です。

- ①新しいエージェントのインストーラーを用意し、P5~P8の手順にてインストールを行います。
- ②起動中の古いエージェントの停止を促す下記メッセージが表示されます。こちらの画面では「継続」をクリックしてください。



- ③エージェントインストール後、再起動を案内する下記メッセージが表示されます。
すぐに再起動を行う際は「はい」を、後ほど再起動する際は「いいえ」をクリックします。（再起動は必須です）



- ④再起動後、新しいエージェントが起動していることをP10の手順にて確認します。

以上でエージェントの上書きインストールが完了です。

【Appendix】 Microsoft Defender SmartScreenの警告が出た場合

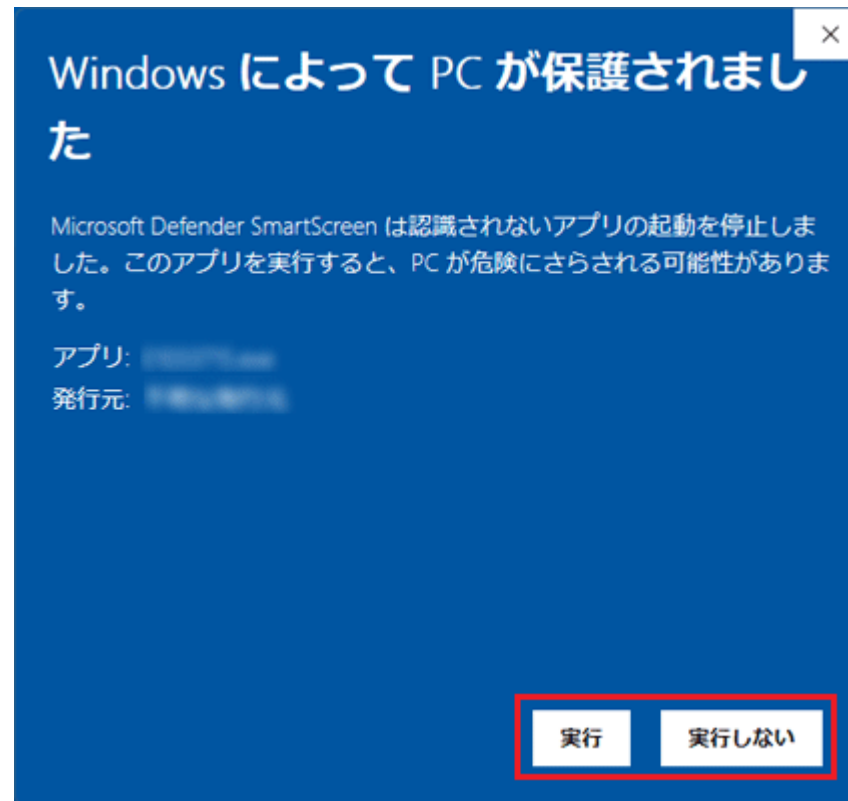
エージェントのインストーラ起動時にMicrosoft Defender SmartScreenの下記の警告画面が表示される場合があります。これは、実行しようとしたアプリやファイルの危険性がないかどうかの確認を促す、という機能からのメッセージです。警告画面が表示された場合は下記の手順を実施し、インストーラを起動して下さい。

①下記の警告画面の「詳細情報」をクリックして下さい。



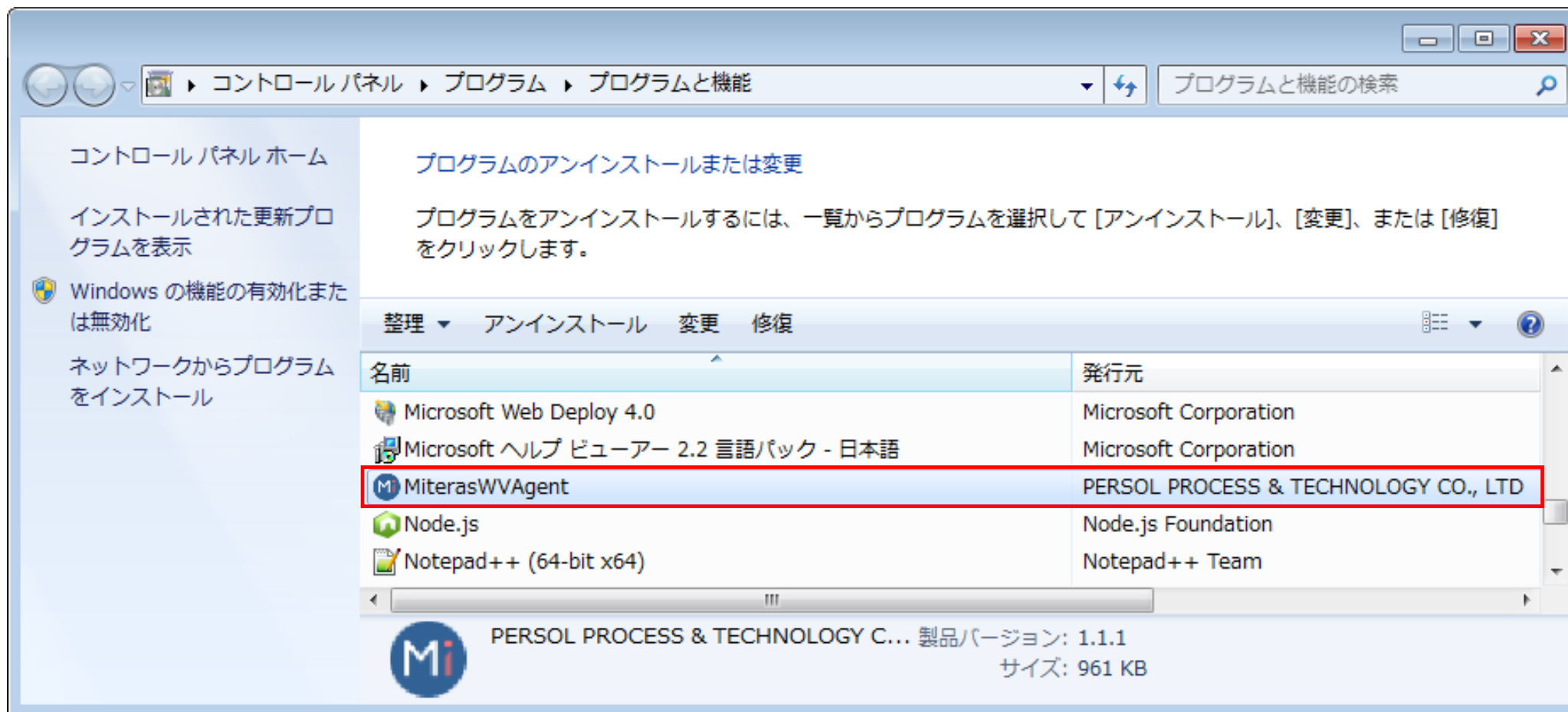
【Appendix】 Microsoft Defender SmartScreenの警告が出た場合

②「詳細情報」をクリックすると下記画面が表示されるので、「実行」をクリックします。



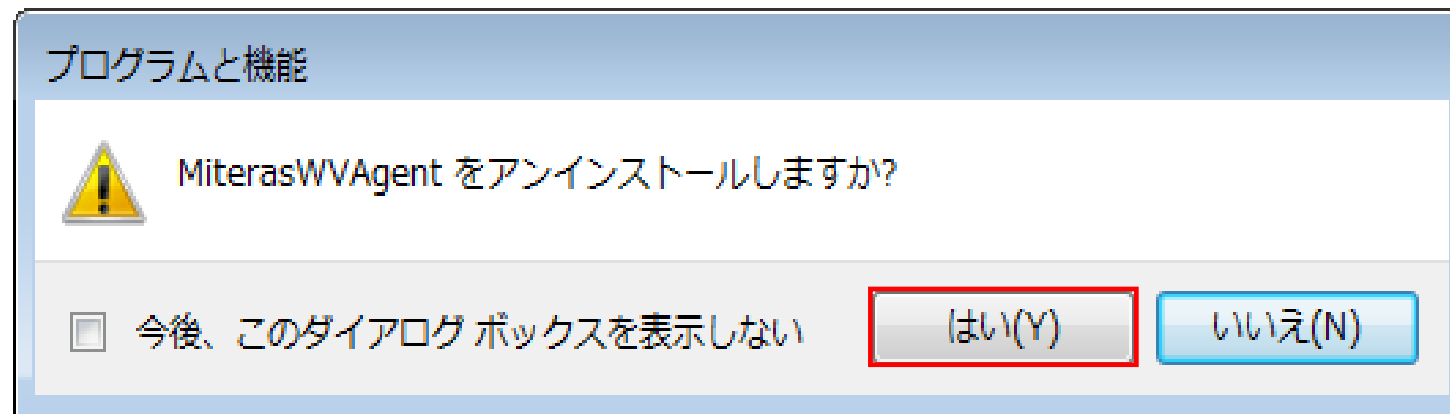
アンインストール手順

- ①Windowsのスタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「プログラム」→「プログラムと機能」を表示します。
- ②アプリケーションの一覧に表示されている「MITERASWVAgent」を右クリックし、「アンインストール」を選択します。



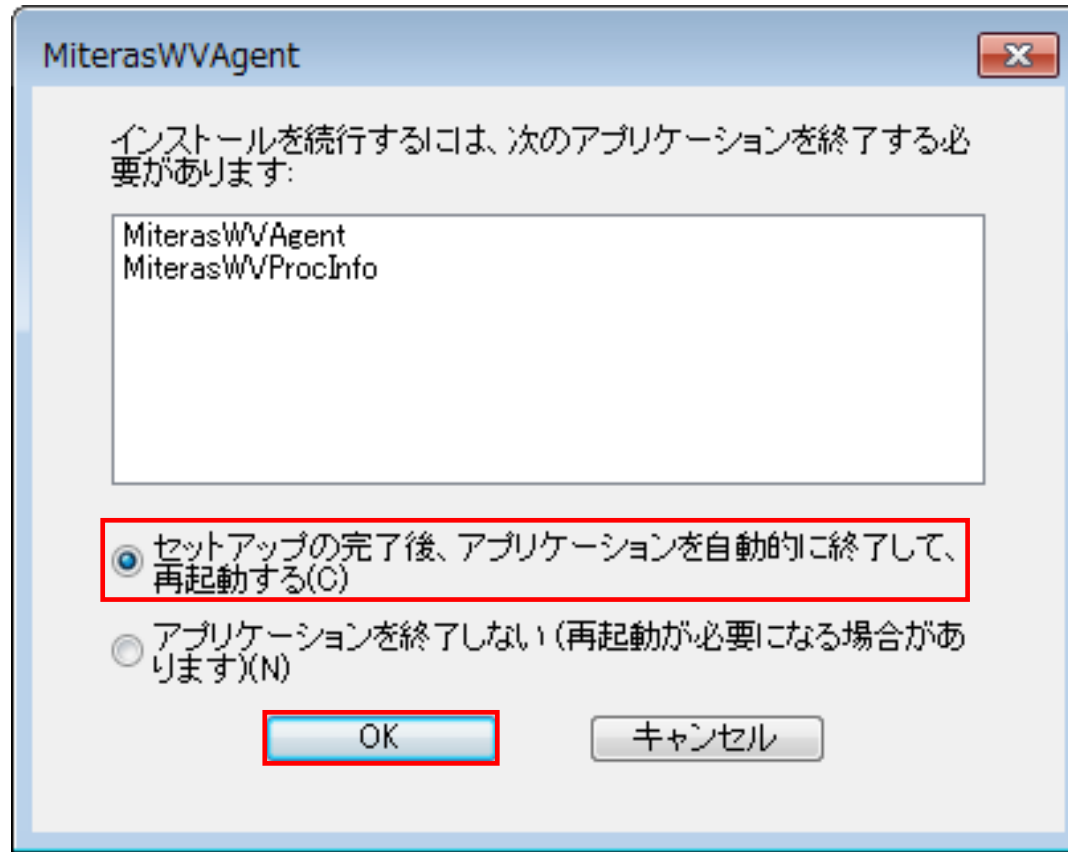
アンインストール手順

③アンインストールの確認画面が表示されますので、「はい」を選択します。



アンインストール手順

- ④アプリケーションの終了確認画面が表示されますので、
「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」をクリックします。



※アンインストールに伴うPCの再起動は発生しません。

アンインストール手順

- ⑤再度、「コントロールパネル」を開き、「プログラム」→「プログラムと機能」を表示します。
「MITERASWVAgent」がアプリケーションの一覧に存在しないことを確認します。

以上でエージェントのアンインストールが完了です。

【Appendix】 サイレントアンインストール方法

- ・サイレントアンインストールは以下のWindows機能、「msiexec」コマンドにて行うことが可能です。

■コマンド

```
msiexec /x "PATH¥MITERASWVAgentSetup_Ver*.*.msi" /q /norestart
```

※注意点※

- ・**管理者権限**でコマンドを実行する必要があります。